

桜の蕾も膨らみはじめ春らしさが感じられるようになりました。今日私たち122名は大きな希望と感謝の気持ちを胸に、この純心女子高等学校を卒業します。

三年前の春、私たちの高校生活はスタートしました。期待と不安を胸にいただき、門をくぐりましたが、三年間はあっという間に過ぎ、あの日始まった高校生活も今日で終わりを迎えようとしています。いざこうしてこの場に立つと、「早く卒業したいね」と言い合っていた日々を後悔してしまいます。今こうして目を閉じれば思い出が一つ一つ蘇ってきます。

私が高校生活で特に力を入れていたことは生徒会活動です。高校2年次には生徒会長を務めました。生徒会のメンバーと放課後遅くまで残り、会議や行事の準備を行ったことは、良い経験になりました。特にルールメイキングでは、今までの純心の伝統を守りながら、今の時代にあった校則を作ることを目指して取り組みました。はじめは、生徒が校則を見直すなんてわがままだと言われてしまうのではないかと不安がありました。しかし、校則を守り、校則と最も関わりがあるのは私たち生徒です。楽に、楽しくするためだけに変えるのではなく、より学校生活を過ごしやすいものにしたいという思いがありました。校則を変えるということは、簡単なことではありませんでした。そこで生徒が主体となって校則を見直し、考えるプロジェクトを行っているNPO法人カタリバの方々や他県の高校生、大学生と月に一度ZOOMで意見交換をしたり、弁護士の方から校則の必要性と相当性について学びながら取り組み、今年の3月に校則を改定しました。改定してすぐは、あまり良い反応がもらえないのではないかと不安でしたが、生徒や先生方に「良かったよ」「ありがとう」と声をかけていただけたので安心しました。もちろんこれは私たちの力だけでは達成できなかった目標です。生徒の皆さんや先生方、そして保護者の方々の協力があったからこそです。アンケートに協力してくださった皆様、職員会議に場をもうけてくださった先生方、本当にありがとうございました。私達が勇気を出して踏み出したこの一歩が、今後の純心によい影響を与えられるならば嬉しく思います。

本校はもうすぐ創立九十周年を迎えます。歴史と伝統があるこの純心という場所で中学、高校と六年間学べたことは私の誇りです。学園標語の「まず孝行、マリア様いやなことは私が喜んで。」は、奉仕の心と他者への愛を持つことの大切さを教えてくださいました。マリア様のように神様にも人にも喜ばれる女性になりたいと思います。

今年1月1日、石川県能登半島がマグニチュード7.6の地震に襲われました。現在もまだいつも通りの日常が戻らず、避難生活をされている方々がいらっしゃいます。世界に目を向けても戦争や紛争、凶悪な事件が後を絶ちません。純心では終礼やロザリオでお祈りをします。私達にできることは少ないかもしれませんが、多くの方々に少しでも早く元の平和な生活が戻るようこれからも祈り続けましょう。

純心で過ごした高校生活にはたくさんの思い出があり、この3年間は私の宝物です。友達とのたわいない会話も何気ないあいさつも笑いあった日々も夢を語り合った放課後もすべてが思い出です。楽しいときも辛いときもそばにいてくれた友達には感謝の気持ちでいっぱいです。

たくさんの思い出を分かち合ってきた同級生、122名全員で今日の卒業の日を迎えることができました。今日という日を迎えることができたのは熱心に御指導くださった先生方のおかげです。心から感謝申し上げます。教えていただいたことを忘れずこれからも歩いていきたいと思えます。そして在校生の皆さん、皆さんは、私たちにとって素敵な後輩でした。これからの純心を作っていくのはあなた方です。変わる純心、変わらない純心を大切に、純心を守って行ってください。今までありがとうございました。また18年間そばで見守ってくれた両親には言葉に言い表せないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。私たちがここまで来られたのはいつも支えてくれた両親の存在があったからです。毎朝私より早く起き、温かいご飯をいつも用意してくれました。毎日心のこもった美味しいお弁当も作ってくれました。将来に悩み泣いてしまった夜も何も言わずそばにいてくれました。両親からの毎朝の「行ってらっしゃい」「今日も頑張ってるね」という言葉に何度も背中を押されました。18年間支えてくださり本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いたします。

これから私たちはそれぞれの道に進んで行きます。異なる道ではありますが自分の歩幅で、自分らしく前を向いて歩いて行きます。たとえ大きな壁にぶつかったとしても、純心で過ごした思い出を糧に私たちなら乗り越えて行けると思えます。これまで支えてくださった全ての方への感謝の気持ちを忘れずこれからも進んでいくことをここに誓い、答辞とさせていただきます。

令和6年 2月29日
卒業生代表